



オアシス

文責：副学長
桑原雅次

出雲芸術アカデミーだより 2020年11月17日発行 第31号

木の葉の色づきにも順番があるようで、秋の風景を眺めているとまるで紅葉がリレーをしているように映ります。その紅葉もすっかり落ち葉となり、冬の訪れが迫っているように感じられます。

本アカデミーでは、11月から後期の講座が始まりました。講座内容を充実させながらもコロナ感染防止対策をしっかりと行いたいと思います。そして、年度末の集大成となるファミリーコンサートに向け、魅力ある講座を通してワクワクしながら取り組み、さらに自己を磨いていただきたいと思います。

◎ いよいよ校歌プロジェクトが最終版！

前号で出雲市内の小学校校歌 CD が完成し、その贈呈式の様子をお伝えしました。その後、学長、部長、私の3人で手分けをし、各小学校へ CD を届けました。行く先々で校長先生を始め職員の皆様から感謝の意を述べられ、おおいに喜んでくださった様子が伝わりました。その様子がよく伝わる小学校校長先生からの礼状を一部ですが紹介します。

～略～ 開封し、早速音楽室のステレオにて再生してみました。その完成度の高さに驚き、胸を撃たれました。これまでは、ピアノ伴奏での校歌しか耳にしたことはありませんので、音楽室に奏でられるシンフォニー校歌に、思わず「素晴らしい！」と声が出ました。私のような素人が申すのも気が引けますが、編曲も演奏も歌唱も素晴らしいものと感じました。そして、我々が平素歌い、耳にしている校歌の雰囲気と同じであったこともうれしく思いました。

出雲芸術アカデミー様の音楽性の高さ、そしてこのように各校に素晴らしい校歌 CD を作成し、ご寄贈くださる崇高な精神に心より敬意を表します。 ～略～

このように感謝される言葉を直接届けてくださったことは、制作にかかわった関係者一同がとても喜びました。

そして、先日、中学校校歌の録音も無事終了いたしました。後は、CD 及びパッケージ制作を行い、年末までには各中学校へ届けられるよう準備を進めているところです。中井芸術監督率いる出雲フィルハーモニー・チェンバーオーケストラの皆様、歌唱を担当された本アカデミー講師2名の皆様、録音に関わっていただいた出雲文化企画の皆様には本当にお世話になりました。最後に忘れてはならないのが、この校歌プロジェクトを始めるにあたって、各学校の協力を得ながら著作権にかかわる諸問題を解決することでした。オー



裏面へ

ケストラ版に編曲を外部委託する場合、普通なら相当な予算を確保しなければなりません
が、コロナ禍にあって芸術活動が制限される状況下、このような企画に共感していただ
いた、京都フィルハーモニー企画編曲アドバイザーである“金澤恭典”氏が引き受けてくだ
さいました。しかも、編曲依頼から小学校35校分（新設校含む）と中学校14校分を1
ヵ月余りで完成していただいたことに感謝の言葉しか浮かびません…。また、様々な調整
や事務方を円滑に進めていただいた本アカデミー事務局の皆様の貢献があったからこそ
の賜物であることは言うまでもありません。

出雲芸術アカデミーの総力を挙げて取り組んだ校歌プロジェクトが、出雲の子どもたち
の感性を高め、豊かな心を育む活動に寄与することができればこの上ない喜びです。

◎ 第3回レコードコンサートを開催しました！

一般公開を前にプレコンサートとして第3回目を先ごろ開催しました。今回はベートー
ヴェン作曲、交響曲第5番ハ短調《運命》を鑑賞しました。「運命」といえば、クラシッ
ク音楽をあまり知らない人でも、“ジャジャジャジャー”は知っていると感じる人が多
いとて有名な曲です。冒頭のモチーフ（動機）が4つの音符をピースとしてレンガブロ
ックのように構成され、独特の手法で作曲された交響曲です。そのモチーフが1楽章だけ
で200回以上繰り返されるという前代未聞の作風で、当時の世間を驚かせる出来事でした。
この独特のモチーフは、指揮者や演奏者によって表現の違いが顕著に表れ、聴き比べ
をするとその違いに驚くばかりです。本アカデミーに所蔵している第5番《運命》のレコ
ード盤を7枚準備し、実際に比べてみる企画をしたところでした。ベートーヴェンの緻密で
理論的に構築された交響曲は、いつの時代でも人を引き付ける力があり、200年以上経
過した現在でも色あせることなく新鮮に聴こえる名曲に今回も堪能できました。

コンサート開催にあたっては、「オーディオショップ フクダ」
様には、「どうせ聴かれるなら高級機器を準備しましょう…」と
呼応していただき、環境整備に花を添えていただきましたこと、
誠に感謝申し上げます。参加者からは、「家庭で聴いていると感じ
なかった音源が、このコンサートではきちんと再生されていて音響環境の素晴らしさに感動しました。」という感想をいただき
ました。また、今回は受講生の中からも参加して下さった
ことは、企画した側からとても勇気をもらい喜んだところでした。



12月は、いよいよ一般公開を計画しています。『ベートー
ヴェンの誕生日（12月16日）に「第九」を聴こう！』をキャッチフレーズに多くの市民
の皆様との出会いを楽しみにしています。

◆別科 OR 受講生の牛尾尚義氏からベートーヴェンの交響曲について「脳トレ」です。

○交響曲は何曲？ ○それぞれの調性は？ ○序奏があるのは何番？

○第5楽章までであるのは何番？ ○誰にも献呈されなかったのは何番？

※調べてみると興味が倍増！

【このたよりは、本アカデミーホームページでも掲載します <https://www.izumo-zaidan.jp/academy/>】